

平成30年度企画展



# 桜井の墨書土器



平成30年12月5日(水)

～平成31年4月14日(日)



桜井市立埋蔵文化財センター



# 桜井の墨書土器

桜井市内の遺跡からは、様々な遺物に文字を記した資料が出土しています。これらには、それぞれの製作や使用に関わった多くの人々の想いが込められています。

今回の展示では、特に「<sup>ぼくしよどき</sup>墨書土器」を中心に展示しています。また、<sup>ふほんせん</sup>富本銭・<sup>わどうかいちん</sup>和同開珎といった文字が<sup>いこ</sup>鑄込まれた<sup>かせん</sup>貨銭や、文字が書かれる前の資料として、<sup>かいが</sup>弥生時代の<sup>えん</sup>絵画土器・<sup>きごう</sup>記号土器もご覧いただけます。

墨書土器には、一・二文字しか書かれていないことが多く、何を表しているのかわからないものもあります。皆さんにはぜひ、桜井市立埋蔵文化財センターに来ていただき、実際に墨書された文字をみて、その文字の意味に想いをはせていただきたいと思います。

## 墨書土器とは？

土器の側面や底面に、墨で文字が書かれたものを墨書土器といいます。その多くは<sup>わ</sup>坏・<sup>う</sup>埴・<sup>ひら</sup>皿などに一文字だけを記したものです。文字の内容としては、<sup>くわんし</sup>官司・<sup>くわんごん</sup>官職名、人名、地名や寺院名、吉祥句、土器の種類、方角、数字、習書や落書きなどがあります。人名や吉祥句などを書いたものは、集落跡から出土し、<sup>くわんし</sup>官司・<sup>くわんごん</sup>官職名、地名を示したものは、<sup>こくが</sup>国衙や<sup>ぐんが</sup>郡衙といった役所跡で多く出土する傾向があります。

桜井市内では、藤原京の<sup>きやう</sup>京城や寺院跡、上ツ道<sup>うすみち</sup>周辺で幅広い内容の墨書土器がみつかります。



『<sup>てら</sup>寺』  
(安倍寺跡第20次出土 藤原京期)



『<sup>みやうち</sup>宮内』  
(経向遺跡第72次出土 奈良時代)

## ◇ご利用案内

開館時間：午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)  
料 金：一般300円／小・中学生150円  
(団体20名以上 一般200円／小・中学生100円)  
休 館 日：毎週 月・火曜日(祝日の場合開館)  
祝日の翌日(祝日の翌日が火曜日の場合水曜日)  
年末年始期間(12/28～1/4)



【交通のご案内】  
○近鉄・JR桜井駅下車、天理方面行奈良交通バス三輪明神参道口下車  
北へ徒歩2分  
○JR三輪駅下車西へ徒歩10分